

令和2年4月20日（月）

学生・保護者各位

北九州工業高等専門学校長  
本江 哲行

## 【新型コロナウイルス感染症拡大による休校について】

緊急事態宣言の発令など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いていますので、授業などについて、下記のとおり連絡します。

学生の皆さんは、下記の事項を遵守して行動して下さい。

また、下記の対応については、今後の感染状況や国、自治体の方針などにより、変更となる可能性があります。その際は、本校ホームページや apps メール（以下、メールと表記）等で掲載、通知しますので、確認してください。

### 1. 令和2年度前期開始日について

令和2年度の授業を5月11日（月）から開始します。

特定の科目は学校で授業しますが、ほとんどの科目は遠隔授業で行います。

また、5月9日（土）に本校で入学式およびオリエンテーションを行います。

（5月6日（水）までに緊急事態宣言が解除されない場合は、中止します。）

なお、5月10日（日）まで休校とし（新入生と保護者の方の5月9日（土）を除く）、令和2年度前期の一部の行事の中止や延期を行います。

授業開始については、別途、連絡します。

不明な点があれば、文末の問い合わせ先までご連絡ください。

### 2. 休校期間中の学習について

①休校期間中に、授業2回分の自宅学習を準備しています。4月8日（水）に課題など連絡しましたが、追加の学習について連絡していますので、指示に従って学習してください。

また、教科書がある前提で学習を行いますので、準備してください。

②追加の学習については、授業担当教員の判断により、課題やレポートでの学習のほかに、遠隔授業（テレビ会議システムによる授業や、ビデオ教材、eラーニングコンテンツを用いた授業）を実施する場合がありますので、授業担当教員の指示に従って学習してください。

③4月8日（水）の課題や、追加の学習については成績の総合評価の対象とします。また、課題やレポートなどの指示があった場合には、期限までに提出してください。

④追加の学習については、授業担当教員が連絡します。また、授業担当教員が配布する課題や学生が提出するレポートなどが増えますので、追加の学習については連絡のみをメールで行い、課題の配布やレポートなどの提出、ビデオ教材やeラーニングコンテンツの配布に、WebClassを使用し、テレビ会議システムはTeams（MicrosoftのOffice365）を使用します。自宅からWebClassにログインし、ファイルのダウンロードやアップロードができるか、確認してください。Teamsについては、授業担当教員が方法などを連絡します。

### 3. 休校期間中の課外活動・自宅での生活などについて

①休校期間中の学校からの連絡は学校のHPもしくはメールで行いますので、確認してください。また、学級担任（専攻科生は指導教員もしくは専攻科主事補）などから状況確認などの連絡を送付する場合がありますので、返信をお願いします。

②休校期間中の学生の登校は原則禁止とし、次の理由で登校不可避の場合は事前連絡の上、登校してください。

★登校不可避の対象

- ・諸手続き、就職・進学指導、進路指導、学生支援・面談のための登校

★登校不可避の場合の対応

- ・担当部署、学級担任などに事前に連絡し、許可を得る。
- ・検温して熱が 37.5 度以上ある時は登校不可とする。  
(学級担任(専攻科生は指導教員もしくは専攻科主事補)、担当者に連絡)。
- ・登下校時を含めてマスクを着用する。
- ・教室等の施設内では、常時、換気を行う。
- ・近距離での会話、飲食を避ける。
- ・登校時にチェックリストのチェック項目を確認し、必要事項を記載する。

③休校期間中の課外活動等や対外試合、コンテスト等への学生の出場や参加を禁止します。

④時間帯等の一部変更はありますが、休校期間中もカウンセラーは来校します。

⑤休校期間中に就職・進学活動において、企業や大学等に移動予定がある場合、学級担任(専攻科生は指導教員もしくは専攻科主事補)もしくは進路指導担当教員に相談し、事前の検討段階において、以下の事項を学生課教務係に届け出てください。

- ・学籍番号と氏名、移動地域(目的地)、移動期間、移動目的、移動手段、同行者

#### 4. 休校期間中の生活および健康管理について

①休校期間中は“3密”の排除を徹底し、健康に注意して規則正しい生活を過ごすことに加え、不要不急の外出や旅行などを控えてください。また、国や居住地域の自治体等から外出自粛等の要請や指示が出た場合は、それに従ってください。

②外務省海外安全情報において、感染症危険情報レベル 2(不要不急の渡航は止めてください)以上が発出されている国・地域への渡航を見合わせてください。特に 5 月の連休中もこの対応を継続しますので、注意してください。もし、レベル 2 発出の国・地域へ渡航したときは、日本に帰国後に 14 日間の自宅待機などが必要になります。また、止むを得ない理由があるときは早めに学級担任(専攻科生は指導教員もしくは専攻科主事補)や進路指導担当教員に相談してください。

(2020 年 4 月 14 日現在で、全世界の国・地域にレベル 2 以上が発令中です。)

③休校期間中は規則正しい生活を心がけるとともに、免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけ、健康管理をしっかりと行ってください。

④もし、風邪のような症状がある場合、居住地域の自治体などの指示に従ってください。また、以下の症状がある場合は居住地域の「帰国者・接触者相談センター」に相談し、指示を受けてください。

- ・風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 4 日以上続いている。  
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)
- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。  
※高齢者や基礎疾患等のある方は、風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 2 日程度続く場合、又は強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合

◎厚生労働省の案内

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html#houshin](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#houshin)

◎北九州市の案内

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18901196.html>

⑤もし、医療機関などで新型コロナウイルスへの罹患が確認された場合、濃厚接触者になった場合には、学級担任(専攻科生は指導教員もしくは専攻科主事補)および学生課教務係に連絡して下さい。また、医師や保健所などの指示に基づいて行動して下さい。

問い合わせ：学級担任(専攻科生は指導教員もしくは専攻科主事補)、学生課教務係